

第1章 道路に関連する熊本県の現状

1 1 道路整備の推移と果たしてきた役割

道路は、最も身近で基本的な社会資本であり、国民生活に欠かせない交通基盤である。熊本県においても、道路整備は県民生活の向上に様々な形で密接に関わりをもっている。ここでは、熊本県内のこれまでの主な道路整備の経過とこれに関連するトピックスを対比した。

熊本県内のこれまでの道路整備と関連するトピックス

	県内のこれまでの主な道路整備状況	トピックス
昭和32年	阿蘇有料登山道路（坊中線）開通	
昭和39年	やまなみハイウェイ(52.4km)開通	S39.阿蘇国立公園への観光客が約72万人増(前年比1.3倍)
昭和41年	天草パールライン(17.4km,五橋)開通	S41.天草国立公園への観光客が約160万人増(前年比4.0倍) S43～44.大矢野町・松島町・本渡市の一部、有明町の離島指定の解除
昭和46年	九州縦貫自動車道 熊本～植木間(13.9km)開通 国道57号東バイパス 熊本市石原～保田窪(5.2km)開通	S42.現県庁舎開庁 S46.(新)熊本空港移転開港
昭和49年	天草瀬戸大橋開通	S50.天草五橋無料化が予定より21年早く実現 S55.天草上島・下島の全域が離島指定の解除
昭和50年	九州縦貫自動車道 福岡～熊本間開通	S51.高速道路・新幹線等の整備により外国人観光客が前年度に比べ43%と激増 S51.熊本空港利用客100万人突破
昭和55年	九州縦貫自動車道 熊本～八代間開通	
昭和60年	国道57号東バイパス全線4車線開通	現在、沿線地域に百数十社の企業が立地
昭和62年	熊本益城大津線（第二空港線）開通	現在、沿線地域に三十数社の企業が立地
平成元年	九州縦貫自動車道 八代～人吉間開通	H1.人吉・球磨地域の観光客数が前年度に比べ18%増 H5.県内総生産初の5兆円台
平成7年	九州縦貫自動車道 人吉～えびの間開通 (九州縦貫自動車道 全線開通)	
平成11年	益城熊本空港インターチェンジ開通 国体道路東西線・南北線 開通 熊本港線 開通	H10.グランメッセ熊本オープン H11.くまもと未来国体 ハートフルくまもと大会